



使用される MIB と生成される SNMP トラップ

使用される MIB

Service Monitor は CISCO-SYSLOG-MIB を使用して SNMP トラップを生成します。

生成される SNMP トラップ

Cisco Unified Service Monitor (Service Monitor) は、次のトラップを生成します。

- MOS 違反
- Cisco 1040 到達不能

トラップの詳細は、clogMessageGenerated 通知の clogHistMsgText フィールドに名前と値のペアで示されます。表 C-1 に、MOS 違反 SNMP トラップの詳細を記載します。

表 C-1 MOS 違反 SNMP トラップ

タグ	説明	値
TT	トラップタイプ	1: センサーからのデータ 3: Cisco Unified CallManager クラスタからのデータ
01	Cisco 1040 センサーの MAC アドレス (TT = 1 の場合) または Cisco Unified CallManager クラスタ ID (TT = 3 の場合)	テキストストリング
02	タイムスタンプ	<YYYYMMDDhhmm>
03	しきい値	サンプル値: 3.5
A	実際のデータか、またはサンプリングされたデータかを示すフラグ	0: 実際 1: サンプル (未使用)
B	送信元デバイスの IP アドレス。送信元デバイスには、次のものがあります。 <ul style="list-style-type: none"> • IP Phone または音声ゲートウェイ (TT = 1 および TT = 3 の場合) • リモート Cisco Unified CallManager (TT = 3 で、コールがクラスタ間コールの場合) 	IPv4 アドレス。次に例を示します。 172.20.4.18

表 C-1 MOS 違反 SNMP トラップ (続き)

タグ	説明	値
C	<p>受信デバイスの IP アドレス。受信デバイスには、次のものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> IP Phone または音声ゲートウェイ (TT = 1 および TT = 3 の場合) リモート Cisco Unified CallManager (TT = 3 で、コールがクラスター間コールの場合) 	<p>IPv4 アドレス。次に例を示します。</p> <p>172.20.5.12</p>
D	コールデータレコードのコーデック (この表の CDC も参照)	<p>次のいずれかです。</p> <p>2 : G711Alaw 64k</p> <p>3 : G711Alaw 56k</p> <p>4 : G711Ulaw 64k</p> <p>5 : G711Ulaw 56k</p> <p>6 : G722 64k</p> <p>7 : G722 56k</p> <p>8 : G722 48k</p> <p>10 : G728</p> <p>11 : G729</p> <p>12 : G729AnnexA</p> <p>15 : G729AnnexB</p> <p>16 : G729AnnexAwAnnexB</p>
E	センサー (TT = 1 の場合) または CVTQ (TT = 3 の場合) によって計算された MOS スコア	サンプル値 : 3.4
F	コール劣化の主な原因	<p>TT = 1 の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> J : ジッタ P : パケット損失 <p>TT = 3 の場合は N/A</p>
G	直前の 1 分間に失われた実際のパケット数	サンプル値 : 0.0
H	直前の 1 分間に生じた実際のジッタ (ミリ秒単位)	<p>サンプル値 : 0</p> <p>TT = 3 の場合、値は NA</p>

表 C-1 MOS 違反 SNMP トラップ (続き)


タグ	説明	値
CDC	コール データ レコードのコーデック	次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • G711Alaw64k • G711Alaw56k • G711Ulaw64k • G711Ulaw56k • G722 64k • G722 56k • G722 48k • G728 • G729 • G729AnnexA • G729AnnexB • G729AnnexAwAnnexB
CCR	Cumulative Concealment Ratio: コールが開始してから観察された、音声時間に対する隠匿時間の累積比率。	サンプル値: 0.0 TT = 1 の場合、値は NA
ICR	Interval Concealment Ratio: 間隔ベースの平均隠匿レート。音声アクティブな状態の最後の 3 秒間における、音声時間に対する隠匿時間の比率。	サンプル値: 0.0 TT = 1 の場合、値は NA
ICRmx	Interval Concealment Ratio Max: コール中に観察された最大の隠匿比率。	サンプル値: 0.0 TT = 1 の場合、値は NA
CS	Concealment Seconds: コール中になんらかの隠匿が観察された秒数。	サンプル値: 0 TT = 1 の場合、値は NA
SCS	Severely Concealed Seconds: かなりの量の隠匿が観察された秒数。観察された隠匿が平均で 50 ミリ秒または約 5 パーセントより大きい場合、おそらく音声はあまり聞き取れません。	サンプル値: 0 TT = 1 の場合、値は NA
MLQK	MOS Listening Quality または CVTQ Score: Cisco Voice Transmission Quality (CVTQ) アルゴリズムで、リスニング品質 (LQK) の Mean Opinion Score (MOS; 平均オピニオンスコア) の客観的な評価 (5 (優秀) から 1 (不良) までの格付け) が提示されます。このスコアは、音声ストリームの直前の 8 秒間隔でのフレーム損失による可聴隠匿イベントに基づきます。  (注) CVTQ スコアは、Cisco Unified IP Phone が使用するコーデックのタイプによって異なる場合があります。	サンプル値: 4.5 TT = 1 の場合、値は NA
MLQKmn	MOS Listening Quality CVTQ Min: コールの開始以降に観察された最低スコア。サウンドが最も不良な 8 秒間隔を表します。	サンプル値: 4.1 TT = 1 の場合、値は NA

表 C-1 MOS 違反 SNMP トラップ (続き)

タグ	説明	値
MLQKmx	MOS Listening Quality CVTQ Max: コールの開始以降に観察された最高スコア。サウンドが最良の 8 秒間隔を表します。	サンプル値: 4.5 TT = 1 の場合、値は NA
MLQKvr	CVTQ 計算のバージョン	サンプル値: 0.95 TT = 1 の場合、値は NA
DRTN	コールの時間 (秒単位)	サンプル値: 120 TT = 1 の場合、値は NA
NST	開始時刻から終了時刻までに抑止されたトラップの数 (TT = 1 の場合)。詳細については、P.4-5 の「センサーのデフォルト設定の設定」の n 分ごとの送信トラップのエントリを参照してください。	サンプル値: 9 TT = 3 の場合、値は 0
ST	TT = 1 の場合は開始時刻。エンドポイントに対して最初のトラップが送信された時刻。	UTC 時間 TT = 3 の場合、値は 0
ET	TT = 1 の場合は終了時刻。最新のトラップが送信された時刻。	UTC 時間 TT = 3 の場合、値は 0

表 C-2 に、Cisco 1040 到達不能 SNMP トラップの詳細を示します。

表 C-2 Cisco 1040 到達不能 SNMP トラップ

タグ	説明	値
TT	トラップ タイプ	2
01	Cisco 1040 ID	Cisco 1040 MAC アドレス
02	タイム スタンプ	<YYYYMMDDhhmm>